



会 長 細 谷 俊 夫 幹 事 伴 誠 会報・雑誌委員長 床 井 光 雄

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3087号 2025年4月8日(晴れ) 第37回例会 会員数99名



点 鐘 細谷会長
司 会 副SAA 谷田部(勝)会員

◇ロータリーソング「奉仕の理想」

◇本日のランチ 牛鍋 香の物 汁 御飯



ビジター紹介 片嶋副会長
◇米山記念奨学生 タマン, スミトラさん



会長挨拶 細谷会長

皆さん、こんにちは。桜も満開で、春爛漫なこの頃ですね。今日から新しい米山記念奨学生のタマン, スミトラさんを迎えます。一年間よろしくお願い致します。



今日は、お釈迦様の誕生日を祝う花祭りの日です。灌仏会とも呼ばれており、宗派や地域を問わず、昔はあちこちの寺院で見られました。お釈迦様は実在の人物で、約2500年前にインドのルンビニーという花園で誕生し、直後に七歩歩いたと言われています。その時に水やお湯が噴き出し大地が揺れ、かぐわしい香りの雨が降り注いだそうです。それで、甘茶を掛けるという行事が行われるようになりました。私も子供のころ母親に連れられて、今はなくなってしまった栃木会館の前で、甘茶を飲んだ記憶があります。

6日の日曜日に、大人の休日ゴルフの協力を得て、親睦ゴルフ大会が、宇都宮カンツリー倶楽部にて開催されました。8組31名の多くの会員の皆様にご参加いただき、天候にも恵まれて、満開

の桜のもと、熱戦が繰り広げられて、楽しい一日になりました。親睦委員会の皆様ご苦勞様でした。ちなみに、優勝は太城パストガバナーでした。おめでとうございます。

今日は第6回クラブ協議会です。3月30日に行われた会長エレクト・幹事エレクト研修セミナーPETSの報告が田崎会長エレクトよりあります。

RI会長エレクトの方針等の話しが聞けると思いますので、田崎会長エレクトよりお願いいたします。

◇新たに迎える米山記念奨学生の紹介

紹介者 米山カウンセラー 小林 正明会員

4月6日に米山奨学生のオリエンテーションがあり、正式に奨学生になりました。

- ・奨学生 タマン, スミトラさん
- ・国 籍 ネパール
- ・在籍校 作新学院大学経営学部4年生
- ・期 間 2025年4月1日~2026年3月31日

※タマンさんより自己紹介がありました。

◇奨学金の授与

米山記念奨学生 タマン, スミトラさん



幹事報告

伴幹事

◇本日18時30分~ パレットにて 細谷年度第10回定例理事会開催。

◇来週4月15日は移動例会で東京製鐵株式会社に職場訪問。清原工業団地管理センター組合の駐車場をご利用いただき、駐車後、イタヤのマイクロスバスにて送迎。



委員会報告

◇出席委員会

SAA代読

＜皆出席表彰・3月分＞

連続42年 青木 格次会員

通算28年 金澤 正英会員

連続11年 富貴塚真人会員

通算10年 石川 元信会員

◇スマイルボックス委員会 S A A代読
太城敏之会員

東ロータリークラブの親睦ゴルフ大会で優勝しました。大たたきしたホールがハンディホールでした。ラッキーです。

小林正明会員

本年の米山奨学生、タマンさんをお連れしました。1年間よろしく願いいたします。



卓 話

クラブ協議会（第6回）

司会進行 伴幹事

本日のクラブ協議会はクラブ細則第5条第7節の規定により、3月30日に開催されました2025-26年度国際ロータリー第2550地区会長エレクト研修セミナーの報告を田崎会長エレクトよりいただきます。

「会長エレクト研修セミナー (PETS) の報告」

会長エレクト 田崎 信孝 会員

皆さん、こんにちは。3月30日の日曜日9時から16時30分迄、ベルヴィ宇都宮にて行われました、2025～26年度国際ロータリー第2550地区会長エレクトセミナー (PETS) 並びに幹事エレクトセミナー (SETS) に私と金子幹事エレクトで行って参りました。この研修を会長及び幹事エレクトは、必ず受けなくてはならないとの事です。

今年からR I会長のテーマが無くなり、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長のメッセージとなりました。内容につきましては、次のように話しておりましたので、読み上げたいと思います。

「会員増強を私たちの組織の最優先事項であり、最も価値ある資産であり、最大の課題であると強調しました。そして今日、会長エレクトとして皆さんの前に立っている今、ロータリーの未来を確かなものにするには、組織全体で会員増強に力を注ぐことが不可欠であると、これまで以上に確信しています。

本日は、会員増強と活性化に向けたロードマップについてお話ししたいと思います。このロードマップは、革新、継続性、パートナーシップという、不可欠な三つの柱に基づいています。これらの原則は単なる戦略ではありません。ロータリー

を活性化し、新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会への奉仕を強化するための行動の呼びかけです。

世界は、劇的なペースで変化しています。テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。トマー・ディ・ランペドゥーサが『山猫』で書いたように、「すべてを同じままに保つには、すべてを変えなければならない」のです。革新こそが変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。若い会員を迎え入れるだけでなく、目的やつながりを求める年配の方々にも参加していただく必要があります。

継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士が連携し、自分のガバナー年度を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます。ロータリーはすでに、毎年リーダーが交代するという独特な課題に直面しています。これ以上、私たちの努力を分散させて、状況をさらに難しくしてはなりません。むしろ、未来のリーダーがさらに発展させていけるような協力の遺産を築いていきましょう。

ロータリーがポリオ根絶活動で培ってきた歴史は、私たちに貴重な教訓を与えてくれます。単独でも大きな成果を上げることが出来ますが、力を合わせれば、世界を変えることができるのです。ゲイツ財団、WHO、UNICEFといった団体とのパートナーシップは、230億ドルを投じて40年以上取り組んできたポリオ根絶活動において極めて重要な役割を果たしました。ロータリーが単独でこれほどまでに大きな進展を遂げることはできなかったでしょう。それならば、会員増強にもこの教訓を活かすべきではないでしょうか。

最終的には、私たちのすべての成果、プロジェクト、パートナーシップは会員にかかっています。会員増強とは単に数字を増やすことではなく、集合体としての私たちの力をさらに高め、ロータリーの使命を継承していくことです。まず、誰も永遠には生きられないと認識しなければなりません。クラブの高齢化に対する唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れることです。第二に、会員数が増えれば奉仕の力も広がります。会員が増えるということは、奉仕に参加する人が増え、地域社会にさらに多くのリソースを投入できることを意味します。第三に、後継者育成計画が重要です。クラブは成長するか、衰退するかはどちらかであり、安定した会員基盤というものはありません。

ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。行動人とは、何をやるのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。これが、

2025～26年度の会長メッセージです：「よいことのために手を取りあおう」

以上のことをふまえて、二十二ガバナーエレクトは、国際ロータリー第2550地区2025～26年度の地区方針として「ロータリーは人をつくり友情を育む」と立てられました。「ロータリー運動の目的は人づくり。ともに行動しロータリーを楽しむことで、友情を育み自分自身の成長に繋げることと思います。今一度ロータリーの目的・ビジョン声明を思い起こし、ともに行動しましょう。ロータリーの目的として次の4つの項目を奨励します。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とする
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値のあるものと認識し、社会に奉仕する機会として、ロータリアン各自の職業を高潔なものにする
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践する
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進する

そしてロータリーのビジョンを実現する為には4つの優先事項があります。

- ①参加者の基盤を広げる (Reach)
 - ・各クラブにて純増2名以上を目指す
 - ・行動計画を学び戦略計画の立案をお願いする
 - ・革新的な新しいクラブの設立を支援する
 - ・クラブの活動を積極的に発信する
- ②より大きなインパクトをもたらす (Impact)
 - ・ポリオ根絶までロータリー財団活動を支援し参加者の基盤を広げる
 - ・ロータリー年次寄付150ドル・ポリオプラス

基金30ドルをお願いする

- ・ロータリー財団グローバル補助金及び地区補助金を積極的に活用する
- ・米山記念奨学会への協力を奨励し、1人当たり19000円の寄付（普通寄付・特別寄付）をお願いする
- ・青少年奉仕・ロータリー財団奨学生・米山記念奨学生の各プログラムへの積極的参加をお願いする

③適応力を高める (Adapt)

- ・クラブセントラル・ラーニングセンターの計画的有効活用をお願いする
- ・ロータリーの友の活用を積極的に行う

④参加者の積極的なかわりを促す (Engagement)

- ・地域社会のパートナーとともに持続可能な変化をもたらすプログラムに挑戦する
- ・クラブの垣根を越えてロータリーのストーリーを熱く語りあう

ますます元気なクラブと地域社会になるよう、ともに手を取りあって行動しましょう」と、二十二ガバナーエレクトからのお話がありました。宇都宮東ロータリークラブのガバナー公式訪問は、11月11日に決定しております。よろしく願いいたします。その他各委員会の委員長より報告がありました。こちらは、個別に文章で流れると思います。以上です。